

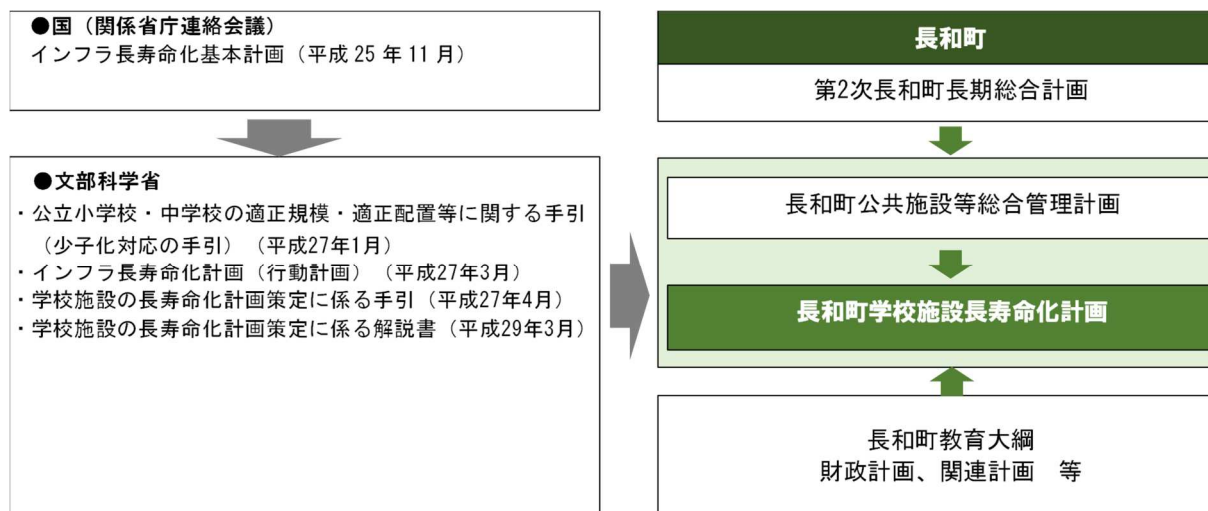
# 長和町学校施設長寿命化計画（概要版）

## 計画の目的

児童生徒のみならず、全ての住民が利用する上で求められる安全性・機能性・快適性を備える施設であり続けるよう、施設整備にかかる財政負担の縮減や平準化を図り、中長期的な改修の実施時期や規模等を定める長寿命化方針を明らかにするものです。

## 計画の位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」及び「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」に規定される個別施設計画です。



## 計画の期間

本計画の期間は、令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）とします。また、施設の長寿命化による財政効果には長期的な視点も必要ことから、コストシミュレーション（費用試算）は今後40年間を見通すものとします。

## 計画対象施設

本計画における劣化調査の対象は、「長和町立長門小学校」と「長和町立和田小学校」の2校を長寿命化の検討対象とします。

## 学校施設の目指すべき姿

学校施設は児童生徒が日々の学習のために過ごす教育施設であり、安全、安心、快適な教育環境が求められます。また、地域住民の生涯学習やスポーツの場として親しまれるとともに、災害発生時には避難所としての役割を果たす等、学校施設には防災面での機能も期待されています。

こうした認識の下、第3次長野県教育振興基本計画では、その基本施策において、「安全・安心・信頼の学校づくり」を掲げ、以下の3つの取組課題が掲げられています。

- ①「地域と共にある学校づくり」の主な成果と課題
- ②「教員の資質能力向上」の主な成果と課題
- ③「安全・安心の確保」の主な成果と課題

これらの課題や取組の方向性をもとに、信州で学ぶ誰もが、これからの予測困難な未来を自ら切り拓き、夢を実現する力を身に付けられることを目指し、基本理念を、「**学び**」の力で未来を拓き、**夢を実現する人づくり**」として、以下の基本目標を示しています。

- ・基本目標1 **生きる力と創造性を育む信州ならではの「学び」を実践します。**
- ・基本目標2 **社会全体で、すべての子どもたちが、良質で多様な学びの機会を享受できるようにします。**
- ・基本目標3 **誰もが、生涯、学び合い、学び続け、自らの人生と自分たちの社会を創造できる環境をつくりまします。**

# 学校施設の実態

## (1) 児童生徒・学級数の状況

本町の小学校児童数は、令和元年（2019）5月1日現在、229人となっており、近年は減少傾向にあります。学級数は15学級となっています。

小学校名	学年	令和元年度		平成30年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数
長門小学校	1年	22	1	27	1
	2年	27	1	30	1
	3年	29	1	28	1
	4年	28	1	28	1
	5年	26	1	33	1
	6年	33	1	26	1
	小計	165	6	172	6
	特殊	8	2	8	2
	計	173	8	180	8
和田小学校	1年	6	1	10	1
	2年	10	1	6	1
	3年	6	1	6	1
	4年	6	1	14	1
	5年	13	1	13	1
	6年	13	1	13	1
	小計	54	6	62	6
	特殊	2	1	3	1
	計	56	7	65	7

## (2) 将来推計

	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)	2045 (R27)	2050 (R32)	2055 (R37)	2060 (R42)	2065 (R47)
総数	6,166	5,567	5,010	4,490	3,984	3,474	2,987	2,541	2,149	1,809	1,511
年少人口	624	536	445	375	315	261	209	169	140	117	98
年少人口 割合(%)	10.1%	9.6%	8.9%	8.4%	7.9%	7.5%	7.0%	6.6%	6.5%	6.5%	6.5%

## 学校施設整備の基本的な方針等

### 長寿命化計画の基本方針

#### ① 計画的な保全による長寿命化の推進

厳しい財政状況が続く中、施設の老朽化が教育活動に支障を及ぼすことのないよう、予防保全の考え方を取り入れた長寿命化改修に転換し、適切な維持管理と施設の長寿命化に取り組みます。

#### ② これからの学習内容に対応する機能的な施設の整備

少人数指導、個別指導、幼・小・中連携、国際理解教育、ICTを活用した情報教育、環境教育等、これからの学習内容・学習形態に必要な空間の確保、設備等の環境整備を進めます。

#### ③ 地域に開かれた施設としての機能向上

これからの学校施設に求められる地域コミュニティ、スポーツ、防災、生涯学習、子育て支援等の拠点機能を高めるため、学校施設の多面的な活用と周辺の公共施設の機能との複合化により、効率的かつ効果的な施設運営方法を検討します。

#### ④ 民間活力や広域的視点の導入による財政負担の軽減

教育施設の整備に際しては、民間活力の導入を検討し、財政負担の軽減と民間ノウハウによるライフサイクルコスト低減を検討します。

また、広域的視点での施設の有効活用と財政負担軽減のため、県、近隣自治体、民間事業者との連携・協働による運営方法を検討します。

#### ⑤ 施設保有量の最適化

将来の児童生徒数の見通しや地域の人口分布に注視し、必要に応じて小学校の適正規模・適正配置について、検討して行きます。

協議の際は、公民館、図書館、体育館等の社会教育施設等との機能の複合化や再編についても地域の状況を踏まえて検討します。

# 学校施設における劣化状況の実態

対象施設の劣化点検を実施した結果は次のとおりです。

## 劣化判定結果

		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
長門小学校	特別教室棟 1-1	C	C	C	C	C	40
長門小学校	特別教室棟 1-2	C	C	C	C	C	40
長門小学校	特別教室棟 1-3	C	C	B	B	B	62
長門小学校	普通教室棟 2	C	C	C	C	C	40
長門小学校	管理棟 3-1	C	C	C	C	C	40
長門小学校	管理棟 3-2	C	C	C	B	B	49
長門小学校	管理棟 3-3	C	C	B	B	B	62
長門小学校	普通教室棟 4	C	C	C	C	C	40
長門小学校	普通教室棟 5	C	C	C	C	C	40
長門小学校	体育館 6	C	C	C	C	C	40
和田小学校	校舎 1	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 2	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 3	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 4	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 5	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 6	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 7	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 8	A	B	A	A	A	93
和田小学校	校舎 9	A	B	A	A	A	93
和田小学校	校舎 10	A	B	A	A	A	93
和田小学校	校舎 11	A	B	A	A	A	93
和田小学校	校舎 12	A	B	A	A	A	93
和田小学校	校舎 13	A	B	A	A	A	93
和田小学校	校舎 14	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 15	A	C	A	A	A	83
和田小学校	校舎 16	A	B	A	A	A	93
和田小学校	体育館 1	A	B	A	A	A	93
和田小学校	体育館 2	A	B	A	A	A	93

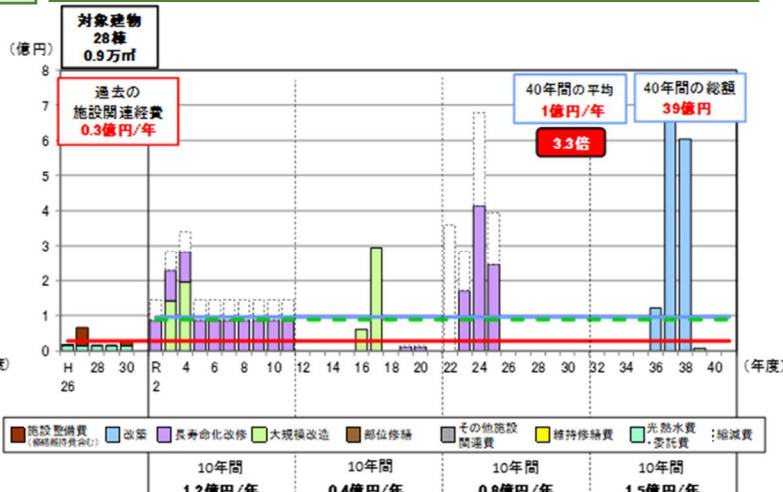
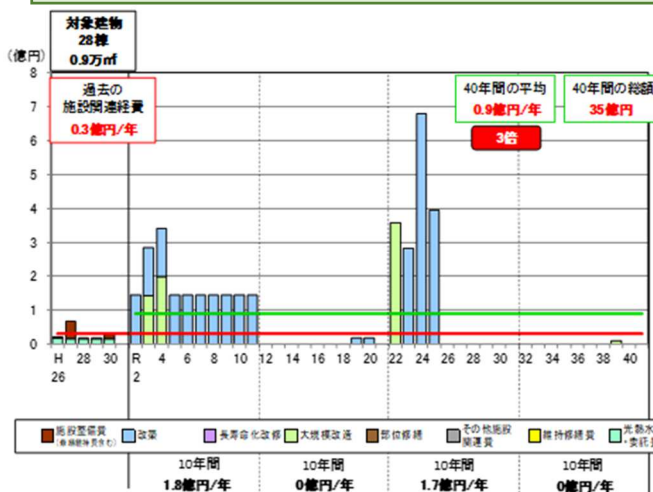
## 今後の維持・更新コストの把握

### (1) 従来型による今後の維持・更新コスト

約40年で建替えを行う従来型の改修を続けた場合、今後30年間で比較すると従来型は35.2億円かかり、過去5年間の施設関連経費(1.2億円/年)の約4倍となります。

### (2) 長寿命化による今後の維持・更新コスト

長寿命化を実施し、耐用年数を約80年とした場合、今後30年間で比較すると従来型は35.2億円に対し、長寿命化型は24.2億円と約31.3%の大幅なコストの軽減につながることになります。



## 保全に係る基準等の設定

### (1) 学校施設の長寿命化改修への転換

中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を図るため、学校施設の整備手法を、改築より工事費が安価で、かつ、廃棄物や二酸化炭素の排出量の少ない長寿命化改修に転換します。

### (2) 予防保全型による維持管理への転換

施設が損傷等によって物理的・機能的な不具合が生じた箇所を修繕する事後保全型の維持管理では、修繕時期が集中し、突発的な維持修繕コストの増加に十分に対応できず老朽化対策や長寿命化改修が困難になります。

施設の良好な維持と長期間利用を可能にするため、定期的な点検・調査を実施し、老朽化状況の把握と予防保全に向けた検討を行い、適切な改修工事を行う予防保全型による維持管理に転換します。

## 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

大規模改造又は改修等には、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営や、放課後子供教室等による学校・家庭・地域が連携した様々な取組を考慮し、地域コミュニティ活動活性化拠点となる多目的な空間利用を検討していきます。学校施設の現在の劣化状況や学校施設整備の基本的な方針等を踏まえ、今後の改修等による整備水準を設定します。

## 長寿命化の実施計画

### (1) 改修等の優先順位付け

改修順位付けの基本的な考えについては、次の点を考慮して決定します。

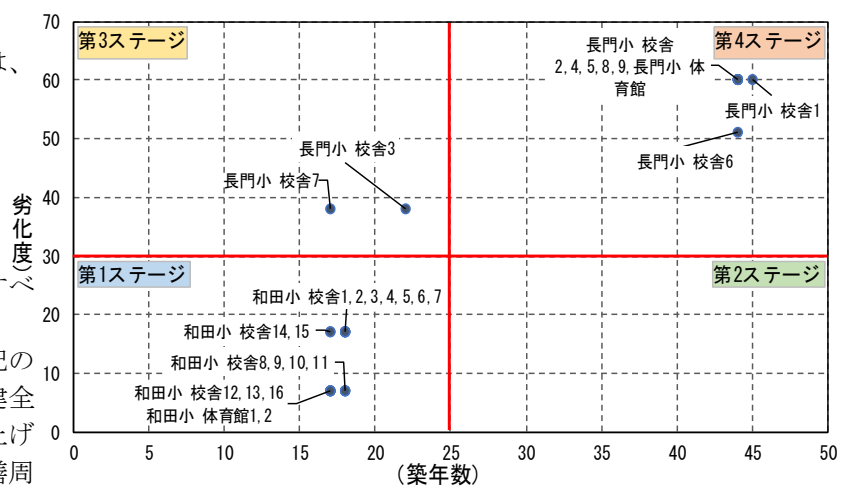
- 劣化状況調査の結果(劣化度)
- 建築年次
- 部位ごとの劣化評価結果
- 過去の改修履歴
- その他、今後の学校整備計画で考慮すべき理由

また、整備計画の作成にあたっては、上記の優先順位設定につづき、劣化状況評価の健全度ポイントや、屋根・屋上・外壁・内部仕上げの劣化状況評価度D及びCを対象に、修繕周期なども踏まえて検討します。

### (2) 学校施設の実施計画

学校施設整備に関する方針、改修等の優先順位を踏まえ、実施計画を策定します。

計画期間については、将来の児童生徒数や財政運営状況を見通すことは難しいことから5年ごとに区切り、見直しを行いながら老朽化対策を進めていくこととします。



## 長寿命化計画の継続的運用の方針

### (1) 情報基盤の整備と活用

共施設の施設基本情報や光熱水費、修繕履歴情報、点検情報等を統一フォーマットで管理する保全情報データベースを整理し、これまでの事後保全から観察保全に向けての施設関連情報を一元管理していくものとします。

### (2) 推進体制等の整備

学校施設を効率的に維持管理するには、公共施設の施設情報を一元管理するとともに、定期的に情報更新を行う必要があるため、総合管理計画による全庁的な基準・方針等を踏まえながら、学校施設の整備・管理の所管である教育委員会子ども教育課が中心となって、本計画をもとにした学校施設マネジメントを行っていくものとします。

### (3) フォローアップ

本計画は、学校施設の改修等の優先順位を設定するものであり、実施にあたっては改築等の庁内合意を得るなかで、実施計画等での予算措置を行い、事業の進捗状況、劣化調査等の結果を反映しながら、定期的な見直しを実施、推進することとします。

長野県 長和町  
学校施設長寿命化計画(概要版)

初版 令和2年3月発行

〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1 TEL:0268-68-3111(代)

ホームページ <http://www.town.nagawa.nagano.jp>